

郷音

ひびき



「響」とは「郷」の「音」と書きます。私ども東京福祉会では、この温かなものを大切に「心に響く葬儀」を目指しております。

東京福祉会だより

第78号 (通刊101号) 平成29年1月発行

今号の
エッセイ

「もうと言い、まだと思う」

シンガーソングライター 小椋 佳氏

ワンポイント
アドバイス

「知っておきたい」ワンポイントアドバイス

感謝の心を届け、故人を偲ぶ「返礼品」

新年のご挨拶／東京福祉会の基本方針「わ」の精神／
平成28年度 物故者慰霊法要 御礼と報告／東京福祉会からのお知らせ

大正8年創立



社会福祉法人 **東京福祉会**

東京福祉会だより(響)は、個人・団体友や当会をご利用いただいた皆様をはじめ、都内の各福祉事務所・施設などにお届けしております。

新年のご挨拶



社会福祉法人東京福祉会

理事長 原山 陽一

新年明けましておめでとうございます。
2017年の年頭にあたり、謹んで新春
のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新
年をお迎えになられたことと存じます。
社会福祉法人東京福祉会も、大正8年
の創立以来98回目の春を迎えることが
できました。これもひとえに皆様方のご
支援助とご指導の賜物と、心より厚く感謝
申し上げます。

当会は、財団法人助葬会として発足
してから今日まで、どのような人生を歩
んでこられた方であっても『最後の時に、
その人生を尊重し、寄り添う』というこ
とを使命に、生活困窮者のための助葬事
業を行う全国でも数少ない社会福祉法
人として、地域社会に貢献してまいりま
した。

併せて公益事業についても、地域の皆
様のお役に立てるよう、ご家族や知人・
友人の方々でお見送りするご葬儀やお
別れ会等、形式にとらわれない「その人
らしさ」を大切にしながらご葬儀を提案して
おります。

また介護保険制度のスタートと同時
に開始した特別養護老人ホームなど高
齢福祉部門の経営も今年で満17年とな
り、地域の中核施設として、サービスの
充実に取り組む中で、人材の育成、運営
のノウハウの蓄積も進んでいます。昨年
はさらに認知症や看取り介護など専門

的ケアを充実すると共に地域貢献や地
域交流の取組みを進めました。

今年の干支は丁酉(ひのと)です。
象徴となっている鶏は、地に足をつけて
歩む姿が『安定』を感じさせる一方、干支
の中で唯一翼をもっており『飛躍』の象
徴ともされています。

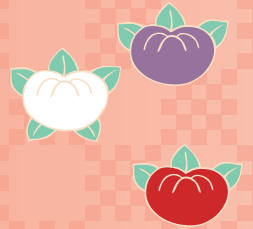
本年4月からは社会福祉法人改革を
内容とする改正社会福祉法もいよいよ
本格施行され、社会福祉法人の果たすべ
き責務も重くなっております。

東京福祉会も足元をしっかりと固めつ
つ、社会福祉法人としての役割と使命を
これまで以上に果たしていけるよう一層
の取組みを進めてまいりたいと思えます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよ
うお願い申し上げますと共に、本年が、
皆様にとって佳き1年となることを心よ
りご祈念申し上げます。

東京福祉会の基本方針

「わ」の精神 ～真心・安心・向上心～



向上心へ 常に挑戦し続け、遺族の期待を上回る葬儀を実現します。

東京福祉会の基本方針について、これまで『真心』『安心』に込めた想いとエピソードをお伝えしてまいりました。今号では、『わ』の精神』の最後のひとつ、『向上心』についてお話しいたします。

新人からベテランまで、日々自己研鑽

東京福祉会には、勤続30年を超えるベテランから未経験入職の20代まで、幅広い年齢層の職員が在籍し、日々業務を行っています。

長い入院の末に亡くなった方を担当した若手職員がいます。打合せ中、ご遺族の「何もしてあげられなかった」という後悔の心を感じ、故人に入浴していただける『湯かん』を勧めたいと考えました。

しかし、湯かんは葬儀に絶対不可欠なものではありません。不必要な商品を押しつけてきた、と嫌がられるのではと、

不安が一瞬湧いたと言います。

それでも、湯かんはご家族に最後の清拭をしていただく場面でもあり、このご喪家には必要なことだと、心を込めてご説明しました。この提案は取り入れられ、葬儀後に「湯かんをやって良かった。丁寧にしてもらった上、私達も参加できて癒された気がする」という言葉をいただきました。

「ご遺族の想いを汲み、実現するための提案」は、ご遺族が本当に望んでいることは何なのか、時にはご遺族自身も気がついていないその想いを汲み取れるよう、また自信を持って提案できるように、今日も努力を続けています。



また、勤務年数の長い職員は、その経験の中からお客様のご希望に添えるようなアイデアを考え、ご提案しています。

花が好きだった方を担当した職員の話です。

好きだった花を祭壇の花材

として取り入れる事を提案しましたが、「自宅の庭に咲いている」花々を好んでいたのでもと辞退をされました。

お庭から摘んできた花を祭壇に添えることも考えましたが、祭壇用の花の近くに置いてはかえって寂しい様子になると思い、また葬儀式中におれてしまう可能性もあり、敢えて提案はしませんでした。

しかしどうにかして、ご自宅の生花を故人様に供してさしあげたいと考え、出棺後火葬場へ行く途中に自宅を経由し、そこで摘んだ花を棺に納めていただきました。皆様には、家族の思い出の花を持たせてあげられた、と大変喜んでいただきました。

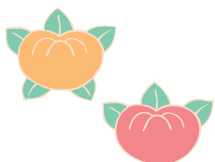
ご自宅の位置によっては、途中立ち寄りが可能だという経験からくる知識と、ご家族と故人様のことを想う心があつたからこそできたサービースです。

東京福祉会の強みとは

東京福祉会は、大正8年から続く長い歴史と経験があります。また3か所の直営斎場を有し、納骨堂や合祀墓を運営するなど、施設の面でも充実しております。

しかし当会の真の強みは、その人らしいお別れの時のために、何か出来る事はないかと常に考え『向上心』を持ち続ける、職員の高い志であると考えております。

今後も『わ』の精神』を胸に、皆様のお役に立てるよう、職員一同努めてまいりますので、ご葬儀や職員へのご意見がございましたら、是非お寄せください。



「もうと言ひ、 まだと思ふ」

シンガーソングライター

小椋 佳

東京福祉会さんから「生きがい」をテーマとしてのエッセイ執筆のご依頼を受けた。狙いとしては、老いを意識し始めた方々に、何歳になっても生きがいを追うことや、「もう無理だ」と思わず何事かにチャレンジすることの大切さを会員の皆様に伝えることだそう。

そこでこの際、周辺の高齢である知り合い達に、「あなたは、生きがいと言えるものをお持ちですか?」とか「あなたにとって、今生きがいは何ですか?」といった質問をぶつけてみた。意外と多かった答えが、「そんなあ、生きがいと言えるほどの大袈裟なものなんて持ち合わせていませんよ。」だった。一方で、即座に「そうですね、今となつては連れ添つた妻です、ね」とか「それなら孫ですね。」とか「今遣つているボランティア活動です。」とか「勿論信仰です。」あるいは「庭いじりです。」「囲碁です。」「ゴルフです。」という答えも、更には臆面も無く「女だ。」という返答さえあった。抑々「生きがい」とは何だろう。辞書によると「生きていく値打ち、生きていく張り合い」とある。これらを言い換えてみれば、「自分が生きていくことを肯定的に実感できるもの」「さらに少々重い表現にすると」「自らの

命そのものと引き換えるに値するもの」などとなるだろう。いずれにしても抽象的である。抽象的であるからこそ、その内容はその言葉を受け止める人によって解釈が様々、事の軽重の取り様もまちまち、「生きがいは?」と問われての答えが色々となるのも、蓋し必然ということが言えるのだろう。

さて以上の如く語意不鮮明のまま、上から目線で「生きがいを追うこと」の勧めをすることは、正直私としては憚られるところである。さらに言えば私自身生きがいを持って生きていくかと自問してみると俄かには応え難い状況にある。

私は今年72歳、6回目の歳男になつている。2年前に生前葬コンサートというタイトルで自らの葬式を終えた人間であるのだが、幸か不幸か生き延びて、現在もあちこちで引き続きコンサートステージに引つ張り出されている。昨今のコンサートは高村光雲の製作した有名な木彫り彫刻をイメージしてそのタイトルを「老猿」とさせていただいている。普通「口ウエン」と読むのだから、私の場合「オイザル」と読む。『オイザル』老いは静かに退く、と『オイザル』老いはしない、年寄りにはならない、との真

逆の二つの音の響きを持つ。私は正にこの両方の相反する想いを心に混在させながらステージを勤めさせていただいている次第である。私以外の皆さんについてもそのように混濁した想いを併せ持っているのが実態ではなからうか。私、小椋佳は、歌を創る人間である。60歳の折に創つた『未熟の晩鐘』というアルバムの中に、次のような歌を収めた。

「もうと言ひ、まだと思ふ」

もう 若い力も 情熱も
萎えてしまった と言ひ

まだ 若い者には 譲れない
負けはしない と思ふ

もう やるべき事は 何もかも
やつてしまった と言ひ

まだ やりたい事の 幾つかは
果たしていない と思ふ

もう 何人となく 友達が
逝つてしまった と言ひ

まだ より大勢の お年寄りが
元気でいる と思ふ

もう 隠居引退 老い仕度
身綺麗大事 と言ひ

まだ 残された日の 花舞台
今日は初日 と思ふ

命の立ち位置 いつも坂道

もうと思えば 下り坂
まだと思えば 上り坂

もう 許せぬことの 数尽きず
ただ愚痴ばかり と言ひ

まだ この世の末を 諦めず
なお正そう と思う

もう 醜いものの 見飽き過ぎ
目と耳塞ぐ と言ひ

まだ 美しいもの 新しく
創りだそう と思う

命の立ち位置 いつも坂道
もうと思えば 下り坂

まだと思えば 上り坂

既に「生きがい」を持っているとい
う人に対して、その内実がいかに下ら
ないものであれ、いかに愚かしいもの
であれ、社会的に非難されるべき事
でない限り、私は否定的態度を採るつ
もりはない。人生の終盤年において、
それが何であれ、また他人が何と言
おうと、その人にとって「生きてい
るものを持っている張り合い」と思
望ましいことだと思ふからである。

ところで、高齢者に「生きがいを持
ちましょう」という掛け声は、若者に
「夢を持ちましょう」という呼び掛け
との類似性を感じる。いずれも耳触

りが良く至極好意的な勧めの響きが
ある。しかし人間の幸福が、「その人
間が抱く諸々の欲望のバランスのと
れた程良き充足状態」と規定するこ
とを妥当とする限りにおいて、「夢」を
持つことはそのバランスの崩れを無
視し、何か特定の欲望に自らの能力
を集約し注力することとなる。そして

大概の場合その夢は果たされること
なく挫折と落胆に終始する。結果そ
の人を幸福とは縁遠い処へ追いや
ることになる。つまり夢を持つことの勧
めは実は生半可な気持ちでやるべき
ことではないのだと知るべきなのだ。
「生きがい」を持つことは好ましい
ことだと言った。しかしむしろ天邪鬼
の私には「生きがいを持ちましょう」
が喧伝され過ぎて、その言葉を受け
止める側が、あたかも「人間として生
きがいを持たなければいけないのだ」
とか「生きがいを持たなければ劣った
人生なのだ」とか思わされるように
なる不都合が懸念される。私として
は、生きがいを持つこと、生きがい
を追うことを義務感のようにストレス
として背負い込むことなく、明恵上
人言つところの「あるべきようは」即
ち、自らの自然(じねん)に従って生
きることに、あるいは一休宗純言つとこ
ろの「世の中は食うて糞して寝て起

きて、さてその後は死ぬばかりぞ」と
いう達観の境地で「生」を享受される
ほうが良るしかろうと言っておこう。
歌創り人の小椋佳としてはこの稿
の最後も70歳を前に創ったアルバム
『邂逅』に収めた一曲を記すことで締
め括らせていただく。

「祭り創り」

思い出の 塊(かたま)りに

過去たちが 眠る

書き変える 術のない 物語

思い出に 浸り込む

誘惑を 拒み

今日という 一日に 奮い立とう

自然の 恵み悦び 愛を讃美して

悔い無い 祭り創り 愉しもう

自らの 内に住む 少年が 歌う

憧れを 裏切らぬ 物語

自らに ふと襲う 諦めを 拒み

今日という 一日を 書き上げよう

出逢いの 不思議悦び 命讃美して

ときめく 祭り創り 勤しもう

自然の 恵み悦び 愛を讃美して

悔い無い 祭り創り 愉しもう

出逢いの 不思議悦び 命讃美して

ときめく 祭り創り 勤しもう

自然の 恵み悦び 愛を讃美して

悔い無い 祭り創り 愉しもう

出逢いの 不思議悦び 命讃美して

ときめく 祭り創り 勤しもう

プロフィール

小椋 佳 (おぐら けい)

1944年1月東京、上野に生まれる。

67年東京大学法学部卒業後、日本勧業銀行(現みずほ銀行)に入行。同行に約四半世紀勤務、浜松支店長・本店財務サービス部長等を経て93年退職。

94年東京大学法学部に再入学。文学部思想文化学科に進み、哲学専攻にて2000年大学院修士号取得。この間、71年初アルバム「青春・砂漠の少年」を発表。3作目のアルバム「彷徨」は100万枚のセールスを突破。以来、ソングライターとして、布施明、中村雅俊、堀内孝雄、美空ひばり等、多数のアーティストへ作品を提供。

「シクラメンのかほり」「俺たちの旅」「夢芝居」「愛しき日々」「愛燦燦」など数多くのヒット作品がある。



感謝の心を届け、故人を偲ぶ「返礼品」

● 返礼品（へんれいひん）とは

お礼のお返し品のこと。

葬儀では、通夜や告別式への会葬者に対して会葬のお礼として「会葬御礼品」、通夜に来て通夜振る舞いに出席しない方への「通夜返し」、香典をいただいたことへのお礼として「香典返し」、法事等への参列者へのお礼、葬儀を手伝ってくれた方へのお礼等、様々な種類があります。香典返しは都市などでは明治期以降、忌明けを期して行われたので「忌明返し」とも言われていましたが、近年では、葬儀の香典を受けた時点で行う即日返し（その場返し、当日返し）が増えてきています。

金額については、贈答儀礼の影響で2分返し（香典の額の半分相当）や3分返し（3分の1相当）が標準化していますが、中にはお返しのでわりとして福祉施設などに寄付をする方もいらっしやいます。

● 葬儀の返礼品に お茶が多いのは？

奈良く平安く鎌倉の時代は中国から僧侶を招き、仏教の考え方を教わり、それを基本に日本の政治が行われておりました。その僧侶たちが、万病の薬として持ってきたのがお茶なのです。そして、僧侶たちが毎日仏壇に健康を守ってくれる感謝の気持ちとしてお供えをしていたこと（献

茶）が、日本の上流階級から一般庶民にまで広まっていったのが慣わしとなり、そこから「仏事にはお茶」という考え方が定着しました。またもう一つ、返礼品にお茶が選ばれる理由があります。

お茶の木は古くより、畑や土地の境界線に植えられることが多く、『境界を区切る象徴的な意味』をもっていたということです。

このことから通夜や葬儀、法要のあとにお茶をお返しすることは、この世にいる参列者と、あの世に旅立った故人との間に境界線を設け、故人とのお別れを確かなものにするという深い意味が込められていたと考えられています。

● 最近の返礼品事情

最近では、従来の「感謝の心を込める」という事に加えて、「こだわりのある高品質なものをお返ししたい」という方が増えてきました。

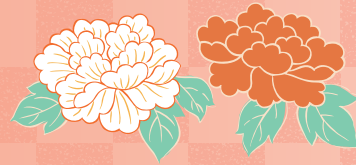
そのため、百貨店で取り扱われるような有名店の商品をはじめ多種多様な商品が、返礼品の選択肢として揃えられてきています。

故人を偲ぶ心とご縁のあった方々への感謝の証として、皆様との絆をより深めるような品をお選びいただいてはいかがでしょうか。



平成28年度

物故者慰霊法要 御礼と報告



東京都福祉保健局
山岸 徳男 次長



東京都福祉保健局 生活福祉部
野村 泰洋 保護課長



社会福祉法人東京福祉会
原山 陽一 理事長

東京福祉会では、去る10月18日に練馬区の江古田斎場、10月24日には国立市のホール多摩国立におきまして、聖恩山靈園納骨物故者永代慰霊法要を、聖恩山靈園 堀内是長導師の読経のもと執り行いました。

慰霊法要には、各福祉事務所と各施設の皆様にご参列いただき、そして当会からも理事長を始め役員、職員が参列いたしました。

江古田斎場では、東京都福祉保健局 次長 山岸徳男様に、ホール多摩国立では、東京都福祉保健局 生活福祉部 保護課長 野村泰洋様にそれぞれ丁寧なる御挨拶を賜りました。

慰霊法要の後には、実際に使用する葬具や納骨堂及び霊安室などの設備を見学していただき、皆様から様々なご質問をいただきました。

問をいただきました。当会の事業へのご理解を一層深めていただけたのではないかと思います。

また、参列された方々の、故人様への葬送の思いが感じられ、ご案内をさせていただいた私共も改めて気の引き締まる思いでありました。

今後とも各福祉事務所、各施設の皆様より託された御霊を、心を込めてお守りしていく所存でございます。

ご関係の皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが、是非とも年に一度の法要にご参列賜りますようお願い申し上げます。

最後となりますが、ご参列いただきました皆様方には、この場をお借りいたしましたことより御礼申し上げます。

東京福祉会からのお知らせ



葬祭セットリニューアルのお知らせ

東京福祉会が平成22年4月に現行の葬祭料金を設定してから、6年が経過しました。この間、葬儀に対する考え方やご利用者様からのご要望は、大きく変化してきています。

当会ではこうした時代の流れに対応するため、新商品及びサービスの開発に取り組んで参りました。

そしてこのたび、従来の価格や内容を、より一層「その人らしい葬儀」にふさわしいものへと見直し、平成29年2月1日より適用させていただくことになりましたので、ご報告いたします。

仏式、花祭壇等の区分はそのまま、ご要望の少なかった価格帯のプランを廃止。ご利用いただきやすい料金設定といたしました。

また、祭壇デザインのリニューアルや故人様との絆を表すサービス（メッセージ折り紙、故人の思い出コーナーのご提案）の導入など、質が高く、温かなお別れの時間のための内容となっています。

※新料金パンフレットをご希望の方や、事前見積りをされている方で新たな再見積りをご希望の方は、下記連絡先までご請求ください。

会友Bプランご紹介制度のお知らせ

東京福祉会の「会友Bプラン」は、ご葬儀にかかる費用の割引を主として、事前相談・お見積りからご葬儀後のご相談、生活を彩る「くらしの学習講座」へのご招待など、皆様に「安心」と「交流の場」をご提供する会員制度です。

この度、より多くの皆様に安心をお届けするため、平成29年1月1日より「会友Bプランご紹介制度」を始めることといたしました。

皆様の大切なご親戚、ご友人の方を是非当会にご紹介ください。真心を込めて対応いたします。

ご紹介者様および新規加入者様（ご紹介を受ける方）に、感謝の気持ちとしてQUOカード1000円分をそれぞれ進呈させていただきます。

※なお進呈は、ご加入後となります。紹介方法等、制度についての詳細は、下記連絡先までお問い合わせください。



資料請求

ご葬儀に関する詳しい資料をご用意しています。下記連絡先までお気軽にご請求ください。

- ① 葬祭料金のご案内
- ② 道灌山会館限定 家族葬プランのご案内
- ③ ホール多摩国立限定 シルクフラワー祭壇のご案内
- ④ ご火葬のみプランのご案内
- ⑤ 道灌山会館のご案内
- ⑥ 江古田斎場のご案内
- ⑦ ホール多摩国立のご案内
- ⑧ 聖恩山霊園のご案内
- ⑨ 会友制度のご案内
- ⑩ エッセイ集 響の縁



お問い合わせ・お申し込み

〈電話〉 ☎ 0120-00-5677 東京福祉会 渉外部

〈E-mail〉 info@fukushikai.com

〈URL〉 <http://www.fukushikai.com>

東京福祉会

検索



「東京福祉会だより（響）」は再生紙を使用しています。